

アメリカシロヒトリから緑を守る

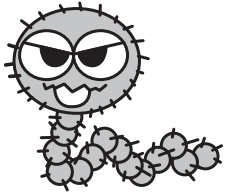
毎年、アメリカシロヒトリによる被害が発生しています。被害を防ぐには早期の発見と駆除が大切です。個人または町内・集落で被害防止への取り組みを進め、大切な緑を守りましょう。

アメリカシロヒトリとは

ヒトリガ属に属する白い小型の蛾で、クルミやサクラ、ウメなどの落葉樹の葉を好んで食害します。

繁殖力が強く、1匹で700以上もの卵を産卵し、約1週間ほどで羽化します。幼虫は巣網を作って集団で樹木を食い荒らし、場合によっては周辺の樹木に移動することもあります。

人体に対して、刺すことはありませんが、皮膚が敏感な人は、毛が付着することで痒みを生じることがあります。



発生する時期

気温などにより変動しますが、通常、5～6月頃と8～9月頃の年2回にわたって大量に発生します。

空き地や空き家などでいつの間にか大量に発生し、隣接する土地に被害を及ぼすこともあります。空き地などの所有者または管理者は、発生時期の前に巣がないかどうか確認をしましょう。

巣の見つけ方

サクラなどの落葉樹に産卵した卵からかえった幼虫は、糸を吐いて樹木の枝葉に袋状の巣網を作るので、容易に見つけることができます。また、葉の

駆除方法

表皮を残して食害するため、巣の付近の葉が白く透けたように見えます。

○早期に発見した場合

卵からかえった幼虫が、樹木全体または付近の樹木に拡散する前の段階で巣網のある枝葉を切除し、踏みつぶすか、袋に入れて燃やすごみとして処分してください。

※この段階での駆除が最も効果があります

○発見が遅れ、樹木に拡散してしまった場合

樹木全体または他の樹木にまで広がってしまった場合には、薬剤を散布

●問い合わせ

環境課生活環境室

53・2111 (内線271、273)

します。薬剤は希釈したものを使います。詳しくは専門業者や薬剤の販売店などにお問い合わせください。

なお、薬剤を散布する場合は、天候や風向きに注意し、近隣の人に健康被害を及ぼさないよう薬剤の飛散防止に配慮してください。

◆市民の皆さんへ◆

市では、個人所有の樹木などの駆除は行っていません。管理者の責任において行うか、またはご近所や町内・集落など地域で行うこととなります。地域ぐるみでの一斉駆除は効果がありますので、互いに声を掛け合い、みんなで駆除するようしましょう。

なお、市では一斉駆除を行う場合に動力噴霧器の貸し出しをしています。希望する場合は、区長または総代を通じて、担当まで連絡してください。

